

令和7年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

所在	千代田区神田泉町1
園名	千代田区立いずみこども園

土と植物との関わり

〈実践回数・期間〉

○講師による土作りや栽培活動の指導(6回)

- ・令和7年5月14日(水)
- ・令和7年5月15日(木)
- ・令和7年9月25日(木)
- ・令和8年1月22日(木)
- ・令和8年3月2日(月)
- ・令和8年3月4日(水)

〈対象クラス・対象人数〉

- *0歳児クラス 9人
- *1歳児クラス 12人
- *2歳児クラス 16人
- *3歳児クラス 18人
- *4歳児クラス 34人
- *5歳児クラス 29人

・〈テーマの設定理由〉

本園は複合施設で、土の園庭がない。野菜や花などの植物はプランターで栽培している。子どもたちが土に触れてより植物への興味・関心を高めてほしいと願い、春と秋の栽培活動では、土を作るところから栽培活動を行っている。今年度はさらに SDGs の取組も含めて実践することで、より土や植物へ興味・関心を高めていく。

2. 活動スケジュール

≪4月22日≫

・講師との打ち合わせ、活動の検討

≪5月14日・15日≫

*5歳児土づくり(講師による指導)

≪5月15日～≫

・土づくりで作った土を使って、各学年で春植えの栽培活動を行う

≪9月25日≫

*4歳児土づくり(講師による指導)

≪9月25日～≫

・土づくりで作った土を使って、各学年で秋植えの栽培活動を行う

≪1月22日≫

*3歳児土づくり(講師による指導)

≪2月9日≫

・5歳児が収穫した野菜を使ってクッキングをする(味噌汁作り)

≪3月2日・4日≫

*4歳児土づくり(講師による指導)

・次年度に向けての打ち合わせ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

*場所: 日当たりがよく、水はけのよい園庭。

*道具: プランター・ブルーシート・スコップ・軍手

*材料: 化成肥料・土

*種: 球根: 苗:

4. 探究活動の実践 及び 5. 振り返り については、学年ごとの実施状況を記録する。

【5歳児】

4. 探究活動の実践

〈活動内容〉

- 外部講師の指導による土づくりと植物の栽培活動
- ・落ち葉や収穫の終わった植物の茎や根から腐葉土を作る。
- ・使用し終わった土と腐葉土を混ぜて、土の再生をする。
- ・花や野菜の種や苗の植え方、育て方を教えてもらう。
- ・植物を育て観察する。
- ・育てた野菜を収穫し食べる。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

土づくりは3歳児の時から行っているため、活動内容も把握しており、安心して取り組んでいる。大きく広げてある土を触って混ぜてみると「柔らかいね。」「何か見つけたよ!」と土の感触を体感するとともに、土の中にある根っこや球根を見つけ、友達や保育者に見せていく。

混ぜ終わり、栄養のある土が完成するとやさしく救うように土をプランターへと運んでいく。

実際に育てる植物の種をみると「こんな形なの?」「模様がついている!」と野菜や花が育ったあとの見た目との違いに驚く姿を見せる。

植物が育ってくると「芽が出たよ。」「土が乾いているからあげなきゃ!」と植物の成長を見守る姿があった。水をあげすぎている子どもには保育者が「植物もみんなと同じようにお腹がいっぱいになるみたいだよ。」と知らせた。すると、子どもたちの中で水の量を気にかけてながら水やりをする姿が見られるようになった。



手で優しく混ぜて植物が大きくなるようなふかふかの土を作成中。



大きく育てほしいという願いを込めながら種を植える子どもたち。



植物がもっと大きくなるように根っこ近くに水やりをしている。



大きくなったひまわりと自分の身長を比べっこ。植物の成長を体全体で感じている。

5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

美味しい土を作ると育てるものもより元気になると知り、土を一生懸命混ぜる姿が見られた。土だけでなく、土の中に混じっていた根っこや球根を見つけることや、虫を見つけることを楽しむ姿も見られた。観察したり保育者に知らせたりしながら、土や植物と関っていた。土と関わることを十分に楽しんでいたため、SDGS について子どもに興味をもってもらえるように伝えられるとよかった。実際に種を植えると「大きくなってほしいな。」「早く育ってほしい！」と願っている子どもがたくさんいた。自分たちで土を作ることにより、植物の成長を楽しみにするのだと感じた。

水をたくさんあげると植物がよく育つことを知っていた子どもたちはプランターに水が溜まるまで水やりをしていた。保育者とともに水やりの量を考えることで、植物に必要な水の量を分かっていく子どもが多かった。

【4歳児】

4. 探究活動の実践(1回目)

〈活動内容〉

○外部講師の指導による土づくりと植物の栽培活動

- ・土を手で混ぜてふかふかの土を作る。
- ・ふかふかの土をプランターに入れる。
- ・花や野菜の種や苗の植え方、育て方を教えてもらう。
- ・植物に水をあげながら観察する。
- ・育てた野菜を収穫して食べる。
- ・後日野菜スタンプにして楽しむ。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

4歳児になって初めての土づくりだった。これまでの経験から、活動内容も把握しており、安心して取り組んでいた。SDGsの土の中に入っていた枝を見つけて土を混ぜたり、手で押ししたり、土の混ぜ方が分からない子どもがほとんどだったが、講師や保育者の姿を見ながら一生懸命にやっていた。両手を大きく広げて土を触って混ぜてみると「土って気持ちいいね！」「虫がいる！」と土の感触を体感していた。たくさん土を触って手のひらが真っ黒になると友達に自分の手を見せていた。

混ぜ終わり、栄養のある土が完成すると手のひらで救うように土をプランターへと運んでいく。全ての土を運ぶと、秋に植えてみたい植物(スイカ・リンゴ・柿)を講師に質問をしていた。季節や育てる場所の面積によって育つ植物が違うことを教えていただくと、どの植物がいいのか考える姿があった。



講師が準備している姿を見る。



素手で土をこねて柔らかくする。



土づくりが終わり、土で真っ黒になった手を友達と笑いながら見せ合っている。



植えた後、「一緒に水あげに行こう」と誘い合って水をあげる。「これなに？」と葉や球根を発見して楽しむ。

5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

講師から土づくりの作り方を聞いた後に講師や保育者が子どもと一緒にいることで、子どもたちがスムーズに土づくりを行うことができた。土の感触を楽しみながら夢中で手を動かす子ども、虫の動きをじっと観察して興味を示す子ども、暑さで一息つきながらも少しずつ土をプランターに入れる子どもなど、一人ひとりが自分なりの姿を見せていた。

夕方戸外に遊びに行くと、栽培コーナーにあるプランターの近くで、何を育ててみたいか、土づくりの経験から子どもたちの話題のきっかけになっていた。

秋植えをした後、友達を誘って手作りジョウロで水をあげながら、土の中に埋まっている球根や眼芽生えた葉を見つけて喜ぶ姿が見られた。友達と一緒に発見を楽しみながら、植物の成長に関心をもって関わろうとする姿があった。

4. 探求の活動の実践（2回目）

〈活動内容〉

○外部講師の指導による土づくりと植物の栽培活動

- ・植物への適切な水の量やあげ方を学びながら、実際に水やりを体験する。
- ・春の花について知る。
- ・水やり後の植物の成長の様子を観察する。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

日頃から花や野菜に興味をもって関わっているため、今回の活動も意欲的に取り組んでいる。実際にどのくらいの水の量をあげると良いのか見せるために講師が地面に水やりをすると水たまりができた。それをみた子どもたちは「こんなに？」と驚いていて、水の量が大切であることに気が付いていた。3秒間待つと適切な量になると知ると、その後の水やりでは友達と声に出しながら水やりをしている姿が見られた。

その後も水やりをした花や野菜の様子を見に行き、寄ってくる虫を観察したり雑草をとったりし、以前よりも植物に愛着が湧いていた。



春の花にはどうして黄色い花が多いのか教わっている。



友達と3秒間数えながら水やりをしている。

5. 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

実際に水たまりができるくらいの水の量を見せたり、3秒間数えたりすることで、植物が生きるために必要な量の水がどのくらいなのか知ることができた。活動後も友達と3秒間数えながら水やり丁寧に行う姿が見られ、数を数えたり、合言葉のようなものがあつたりすると楽しく栽培ができると感じた。

園庭に咲いている植物に黄色が多いことからその理由を考え。講師から春の花の特徴について教えてもらった。今後も子どもたちの植物への疑問を一緒に調べたり、聞いたりできるようにしていく。

【3歳児】

4. 探究活動の実践

〈活動内容〉

○外部講師の指導のもと、植物への水やりを行う。

- ・植物への適切な水の量やあげ方を学びながら、実際に水やりを体験する。
- ・4、5歳児が育てた野菜や花の名前や種類、形について知る。
- ・水やり後の植物の成長の様子を観察する。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

講師から植えられている植物の写真を見せてもらい、特徴や名前を知ることができた。植物に水をただあげるのではなく、適切な量や方法があることを理解した。

以前から4、5歳児の土づくりや、植え付けの様子を見ていたので、興味や愛着を示す子が多かったが、花や実をつけて大きく育った植物に改めて関心を寄せている姿が見られた。

花や実の香りを嗅いで「いいにおいがするね」「家の野菜と同じにおいだ」等と感じたまを言葉にして表現したり、葉っぱの形の違いに気がついたりしていた。

3歳児はジョウロを使用せず、100ml程度のペットボトルを使用し、水のあげすぎや周囲の水浸しを防ぐ工夫を行った。



教えてもらったことに気を付けながら、水やりをしている。



植物の特徴や水やりの仕方を教えてもらっている。



植物の生長の様子を観察している。

5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

花や実がついていない植物が多かったため、写真を用意して外部講師から子どもたちへ説明を行ったことで、子どもたちの植物に対する関心や興味を引き出すことができた。

活動後、水やりの際に水のあげすぎに気を付けるようになり、以前よりも優しく丁寧に行うようになった。活動を通して植物への関心が深まり、成長の様子や葉の形の違い、花や実がついたことに早く気がつき、保育者に知らせる子が増えた。